

大教会の諸活動

▼月定例行事▲

4日	岡心勇隊佐賀地区 大教会ひのきしん (岡谷・眞世・南洲)
6日	岡心勇隊奈良中和 岡心勇隊五條橋本 (あやの台)
8日	岡心勇隊八幡地区 大教会ひのきしん (道弘)
9日	岡心勇隊大阪地区 大教会ひのきしん (相嘉)
13日	祭典準備ひのきしん
15日	大教会ひのきしん (表野・飛鳥川・岡秋)
18日	大教会役員会議
21日	婦人会伏せ込みひのきしん
22日	大教会月次祭
23日	婦人会話所ひのきしん
23日	大教会ひのきしん (東松浦・西北)
24日	大教会ひのきしん (東松浦・西北)
25日	大教会ひのきしん (東松浦・西北)
26日	大教会ひのきしん (東松浦・西北)
30日	岡心勇隊姪浜会場 本部月次祭
第一日曜日	おぢば伏せ込み団参 (午前中)
毎月25日	おぢば伏せ込み団参 (回廊拭き)

▼その他の行事予定▲

1日	大教会元旦祭
3日	教祖140年祭全教会一斉巡教
5日	※5月にかけて実施
5日	※5月にかけて実施
7日	※5月にかけて実施
23日	婦人会ハサ-
24日	大教会年頭会議
25日	おぢば伏せ込みひのきしん

2月	1~28日 教祖140年祭全教会一斉巡教
24日	※5月にかけて実施
24日	おつとめ勉強会

教務報

◆第96回新任教会長の集い受講者(11月27日)
表時 上田 時弘

- ◆教養掛
1月 岡道 谷川 清彦
2月 表野 蓮池 弘之
- ◆第127回教人資格講習会前・中・後期修了者
(11月27日・12月11日)
南阿太 芝田 勝則
- ◆修養科第975期修了者(11月27日付)
松浦郷 野村 淳司
- ◆別席願(11月16日・12月15日受付分)
東松浦大阪 村上 碧
住之部 江里 耕介
- ◆おさづけの理拝戴願
(11月16日・12月15日受付分)
住之部 山科 理美

◆お運び(11月26日付)
・大和二見分教会(相嘉)
【任命願】
新会長 松本 直美
奉告祭 立教186年2月5日

〔訃報〕
葬儀は森井道典・大教会役員齋主のもと、12月7日みたまうつし、8日告別式が岡大教会ホールで執り行われました。長年、教会長、大教会役員として道の御用の上に、また大教会の上に尽くされた氏の功績を讃え、感謝と敬意を込めて弔意を表します。

〈岡橋氏略歴〉
大正9年9月16日生まれ。昭和18年おさづけの理拝戴。24年教師補命。42年忍海分教会長。49年大教会役員、おつとめ奉仕人。57年会計副主任。年62年大教会住み込み。平成5年誥所主任などを務めた。



大教会役員
忍海分教会三代会長
岡橋 秋次氏 (102歳)
12月5日お出直し

立教一八六年 一月号 (十二月二十三日発刊) 岡大教会連絡報

岡大教会ホームページ



oka.or.jp
発行所 高市郡明日香村岡 395
〒634-0111
天理教岡大教会
電話 (0744)54-2002
FAX (0744)54-3889
E-mail info@oka.or.jp
185.12.23 / 047

POINT

今月のメッセージ 「魚は裸で泳いでる」



「だから、水温が急に下がると慣れるまで餌を食べなくなる。」と、釣り好きの床屋の忌部さんが言いました。なるほど、鱗は有っても保温効果は期待出来そうもありません。その前に水と空気では、冷たさが大違いです。

これに比べ、私たち人間は服を身に付けるという知恵をつけてもらいました。だから、寒い寒いと言いながらも何とかなっています。そしてもう一つ、何でも分かち合えるという「心」を与えていただきました。

辛いこと、悲しいこと、喜び、楽しみ、人は何でも分かち合うことで、これまで生きのびてきました。今日、他者への思いやりを欠いた自己出張や、刹那的行動があふれていることが気がかりです。新しい年は変わって行きますように。

この季節、俵万智さんの短歌『寒いね』と話しかければ『寒いね』と答える人のいるあたたかさ」を思い出す人も多いと思います。

(吉田)

TOPIC

年の瀬の風物詩の一つといえ、ば、屋内の埃を払って大掃除する「すす払い」が浮かぶ。12月10日には大教会で恒例の「すす払い」が実施され、約50人が参加した。今年、神殿上段と参拝場内を青年会岡分会が主に担当。高さのある



一手一つに 一年の「すす払い」を実施

脚立や梯子、柄の長いはたきやダスターを使って、欄間や額の裏側の隅まで埃取り(写真上)。女性や少年会員は、参拝場から信者会館にかけてのサッシを掃除。隅にたまる小さな汚れまで丁寧に除去した。

そのほか、男性の手で参拝場の建具や電気カバーを取り外しながら水拭き(写真右)。網戸の汚れを高圧洗浄機で洗い流したほか、穴の開いた網戸を新しい物に張替え。中学生と高校生の参加者は、参拝場外側の犬走りを清掃した。



大和二見分が「任命願」お運び



新任教会長となる「任命願」のお運びを実施し、新たな一步を踏み出した大和二見分教会（松本直美会長＝写真中央）の皆さん。陽気ぐらしへの邁進を誓い、持ち前の明るさで教祖年祭活動を駆け抜ける。

大教会への伏せ込み



各教会が日を定めて、大教会に伏せ込む「大教会ひのきしん」。教祖140年祭の年祭活動を目前に、新たに岡谷、眞世、南沢が毎月6日に実動することとなった。これまでに15日に道弘、21日に相嘉、22日に表野、飛鳥川、岡萩、25日に東松浦、西北が実施している。

女子青年大会に参加



11月27日に天理教教会本部中庭で開催された「第30回女子青年大会」。岡女子青年（芝田沙姫委員長）は、前日の26日から一泊二日でプログラムを実施し、女子青年女子青年63名を含む計123名が参加した。

初日は、本部夕づとめ参拝と懇親を兼ねて夕食。二日目は中庭での「大会」に参加後、東泉水プール前広場で除草、清掃ひのきしん。その後、詰所を会場に「支部の集い」を開催し、教祖140年祭に向けて女子青年としての歩みを確認。代表2名の感話を通して、お互いの機運を高めた。午後は昼食を兼ねて「親睦会」を実施。楽しいひと時となった。



ぜひ、友達登録してください

天理教岡大教会
LINE公式アカウント

様々な情報を配信します。
ぜひ友達登録してください！



▲実動2年目から通うロシエルさん家族（写真左）と、出張所の西村秋彦所長とスタッフの皆さん（写真右）



豪州布教隊

10年の節目を迎えた布教隊 拠点設立、目指して現地での活動を再開

教祖130年祭の年祭活動一年目に、当時、青年会岡分会の心定めとして掲げた「海外拠点設立」。オーストラリアを布教地に定め、毎年現地での実動を展開してきた。3年前の立教182年からは、青年会から大教会の「豪州布教隊チーム」として新たな歩みを進め、今年で10年目の節目を迎える。

新型コロナウイルスの世界的パンデミック以降、厳しい出入国の制限から現地での活動を一時中断していた同布教隊。約3年の間は、現地ようぼくのマイケルさん（敷津）や、これまでに出会った方と主にSNSやメールを活用して連絡を取り、現地実動再開に向けてつながりを保ってきた。新型コロナウイルスの影響も3年目を迎え、今年の7月6日にはオーストラリアの入国規制が全面廃止に。これを受けて、これまで布教隊に参加してきたメンバーの中で「教祖140年祭に向かう年祭活動を目前にし、活動10年目の節目の年にどうでも現地に赴きたい」との気持ちが強くなった。

そこで、海外部や現地のオセアニア出張所へ連絡を入れ、現実の実情を調査。「コロナの影響はぬぐえないが、通い先へのおたすけなら可能」との返事を受け、11月12日から18日にかけて渡豪を決定。第7次隊として実動を展開した。

現地では思いのほか、神名流しや個別訪問などのコロナ以前と変わらない布教活動が出来、予定以上の充実した活動となった。



▲現地では以前と変わらない布教活動を実施（写真左）。帰国前には空港内でPCR検査を実施した（写真右）。